



# 園だより

第6号

平成30年9月26日

駿河台大学第一幼稚園

園長 田所 恒子

## いろいろな動きをたくさん楽しむ中で

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、ようやくしのぎやすい季節となりました。戸外で友達と一緒に伸び伸びと遊ぶ子どもたちの姿は、一層楽しげに、そしてたくましく感じます。

さて、10月になると各小学校で就学時健康診断が始まります。これを機に、年長児や保護者の方は、小学校への関心を高めていかれることでしょうか。特に、保護者の方にとっては、お子様がきちんと座って授業を受けられるか否かという点は、とても大きな問題です。「小学校に行って椅子に座っていただけるように、年長組の後半には椅子に座り、机に向かう機会を作っています。」と言う、保育・幼児教育関係者の話をよく聞きます。本園でも、活動や指導の必要に応じて、年少児から椅子に座り、机に向かう指導は行っています。しかし、そのことだけで、小学校の授業に主体的に参加し、学習する子どもが育つとは考えていません。

新しい小学校という環境で、子どもたちが安心・安定して授業を受けるためにはまず担任と信頼関係を築き、話を聞こうとする態度をとれることが大切です。大好きな先生と一緒に遊んだり生活したりする幼稚園生活はその基盤となります。

いろいろなことに興味をもちやってみようとする気持ちや、ちょっと難しいことにも挑戦しようとする気持ちも大切です。入園当初の年少児は、写真の右側に見えるネットを使ってクジラの滑り台に登ることがやっとでした。滑り台の下から駆け上って遊ぶ年長児や年中児の楽しそうな姿を見て、自分もやってみようとして裸足になり真似をし始めました。今では、曲面となっているためよじ登るのが難しいクジラの顔の部分からも登ったり、上から滑ろうとする友達がいる時にはちょっと登るのを待ったりする姿も見られます。状況を判断し、自分の気持ちを我慢してルールを守ろうとする姿が年少児なりに見られます。このような力も大切です。

友達と一緒にやることを楽しめる力も大切です。本園では運動会用の長い綱引きの綱の他に、6mほどの短い綱を用意しています。年中児は、遊びの中でこの短い綱を使い、友達と一緒に綱引きを繰り返して楽しんでいます。友達と力を合わせると凄い力がわき勝てるのが分かり、そのために友達を誘ったり誘われたりとコミュニケーションを図ることも体験しています。

友達と協調して行動しようとする態度や、教師の話を理解して行動する力も大切です。運動会でバルーンを使って表現活動をする年長児は、先生の話聞き、みんなで気持ちをついにし、音楽に合わせて表現することを楽しんでいます。バルーンの動きは演じている子どもたちには見えにくいものです。写真の右奥に見える子どもたちは友達の表現を見ながら、自分たちに置き換えて、自分たちの表現を振り返り評価しています。友達の姿から自分を振り返る、そんな力も大切です。

そしてこのように、いろいろな動きを楽しむことを通して、子どもたちは、体幹と言われる姿勢を維持できる力も身に付けていきます。

「椅子に座る」という形だけでなく、幼稚園で、いろいろな動きを友達と一緒にたくさん楽しむ中で、心情・意欲・態度、そして体を育てることが、小学校の授業に主体的に参加し学ぶ子どもを育てるために、とても大切であると考えています。

10月6日(土)に、国領小学校校庭をお借りして、本園の第42回運動会を開催いたします。(雨天の場合には、体育館で行います。)先生や友達と一緒にいろいろな動きをたくさん楽しみ、成長したお子様たちの姿をご覧ください。また、保護者の皆様もご一緒に参加していただき、体を動かす楽しさを味わっていただけますようお願いいたします。



秋の陽射しをあびて園庭で友達と一緒にいろいろな動きを楽しむ子どもたち



クジラの滑り台を逆から登り、滑り降りることを楽しむ年少児



短い綱で、友達と力を合わせて綱引きを楽しむ年中児



一人でも気を抜くと大きく膨らまないバルーン。自分の力を最大に発揮し、友達と力を合わせてバルーンで“シャボン玉”を表現する年長児